

緊急時対策本部要員訓練(応用演習)コースの実施について

2018年度から開始した緊急時対策本部要員訓練(応用演習)コースを、2019年8月に実施しました。

カリキュラムは講義とシミュレータ訓練の合計2日間の構成で、シミュレータ訓練では、状況判断演習と情報収集演習を実施しました。

「状況判断演習」では、参加者を2グループに分け、グループ毎にシミュレータでのシビアアクシデント事象観察後に、状況判断/進展予測/対応方向付け等の検討を実施するとともに、検討結果の相互レビューを実施しました。

「情報収集演習」では、緊急時対策本部が中央制御室との電話連絡や、プラント情報表示システム(SPDS)画面等から情報収集し、シビアアクシデント発生時のプラント状況の把握とその後の方向性の指示、通報判断を行う訓練を実施しました。

参加者からは「考える部分も多々あり、とても勉強になった。」との感想を頂きました。

今回得られたご意見や頂いた要望を踏まえ、更なる改善を図っていきます。

(情報収集演習における緊急時対策本部の様子)



(情報収集演習における中央制御室の様子)



(情報収集演習後のインストラクタによる解説)



情報収集・連携